

きずな

2010年 3月 4日

NO 782

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

2月22日、井原市議会2月定例会が開会しました。会期は3月17日までの24日間です。22日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行いました。その中で新年度予算の施策の基本方針を話しました。その内容（概要）は次のとおりです。

本市の平成22年度の当初予算案については、本市の目指す将来都市像「美しい自然、息づく文化、笑顔でつながる人 元気発信都市 井原」の実現に向け「第6次総合計画前期基本計画」に基づき編成している。財源確保が厳しい中であっても、社会経済情勢の変化を踏まえつつ、緊要と考えられる施策に必要な経費の確保を図るため、優先順位の厳選と、限られた財源の重点的・効率的な配分を行い、市民生活の安全・安心はしっかり確保することを基本として、教育の充実や文化の振興による心の健康と保健・医療・福祉の充実や良好な環境の保全、インフラ整備による体の健康を主眼として健康をキーワードに予算編成を行った。長引く景気の低迷を受け、今の時期は特に地域の活性化に取り組む必要があることから、厳しい財源の中であっても積極的に予算規模を確保したところだ。

その結果、平成22年度一般会計予算案の規模は、181億5千万円となり、前年度当初予算額との比較では10億6,500万円6.2%増の大型予算を編成した。また、特別会計では、国民健康保険事業など10会計で128億6,695万円、水道、病院、工業用水道の企業会計では、37億6,288万3千円を計上しており、合わせて平成22年度の予算総額は、347億7,983万3千円となったところだ。施策の基本方針を「第6次総合計画前期基本計画」に基づき順次申し述べます。

心豊かでたくましいひとを育てるまちづくり

学校教育◆義務教育を円滑にスタートするための小学校1年生支援授業を継続実施するほか、パソコンや電子黒板を活用した授業作りの支援などを行うICP支援員を配置する。◆学習支援員・生活支援員の配置や特別支援教育巡回相談員配置授業の実施によって、特別支援教育の推進に努める。

学校施設の整備◆施設の耐震化が急務となっており、耐震化優先度調査結果に基づき計画的に取り組んでいます。小学校では校舎3棟体育館1棟、中学校では校舎2棟体育館1棟、幼稚園では園舎2棟の合計9棟の耐震診断を実施する外、校舎や体育館の合計16棟の補強計画、実施設計を予定している。

安全安心な環境整備◆美星小学校の南校舎棟、管理棟の屋根改修工事、井原中学校のバックネット改修工事などに取り組む。◆出部幼稚園の園舎整備設計業務委託料を計上。

社会教育の推進◆新たに10地区公民館に公民館主事を配置し、地区公民館活動の充実を図る。◆子守り歌サミットや雪舟サミット、国民文化祭の開催をはじめ、市民の皆さんの自発的な活動の支援を行う。◆井原図書館の耐震補強計画と実施設計業務を行う。◆ブックスタート事業の展開や、図書館蔵書の充実を図る。



学校給食◆安全性や衛生面、環境面の充実を図るとともに、特に幼稚園の給食については、平成22年10月から新たに9幼稚園で給食実施を予定しており、幼児の食育の推進に努めることとしている。

スポーツ活動の充実◆引き続き競技力の維持・向上と選手の育成強化の支援を行う。◆井原体育館格技場屋根修繕工事等の営繕工事を行う。

田中美術館施設整備◆省エネ改修として太陽光パネル設置と展示室、街路灯のLED化を図る。◆秋には特別展（仮称）岡倉天心・平櫛田中と日本彫刻界展を企画している。

いつまでも健康ではつらつと生きるまちづくり

健康寿命の延伸に向けた取り組み◆笑って健康元気アップ事業が3年目を向かえ、笑いと健康フォーラムをはじめ、笑顔の絵画コンテスト、笑顔の体操講師派遣や、ウォーキング大会などを実施するほか、新たに「笑いで健康体操」の作成を実施し、市民の健康づくりを支援する。

市民の健康づくり◆新たに肺炎球菌予防接種への助成を始めるとともに、子宮がん、乳がん（マンモグラフィ）健診を毎年実施することとし、市民への健康施策を積極的に推進することとしている。◆出産を控えた夫婦や家族に出産に向けての準備について、情報提供をする「支援レター」

2面へつづく

読者ニュース「きずな」に対するご意見や情報をしんぶん赤旗の配達・集金者にどしどしお寄せください。

1面よりつづく の送付や育児不安の解消のために「ベビーセミナー」を始めるなど、母子保健の充実を図る。◆乳幼児や児童・生徒が健やかに成長するよう、乳幼児等医療給付の対象を拡大し、小学校4年生から中学校3年生までの入院費用を無料化する。

各種の福祉施策◆福祉施策を分かりやすく紹介する「福祉のしおり」を作成し、全世帯へ配布する。◆障害者福祉では、各種の自立支援事業や地域生活支援事業の実施に努めるほか、低所得者の医療費自己負担額の一部助成、更に障害者の社会参加を促進するため、障害者通所奨励金を拡大する。◆高齢者福祉では、いきいきデイサービス事業や軽度生活援助事業、寝具類乾燥消毒サービス事業等の実施により高齢者福祉を推進するとともに、4月開館の「いばらサンサン交流館」において、三世代交流事業を実施する。◆児童福祉では、延長保育促進事業、地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業を実施するとともに、児童クラブの安定した運営を図るため、指導員確保に対する支援を行う。◆児童の健康を増進し情操を豊かにするための健全な遊び場として児童会館を新たに芳井地区に開館し、市内4館において各種事業を実施する。◆子ども手当の創設、児童扶養手当の父子家庭へ拡大など子育て支援を強化する。

地域医療体制の充実◆来る4月6日から井原市民病院で毎週火曜日に皮膚科外来を開設する。◆井原市特別養護老人ホーム「星の郷」について、指定管理者を公募し選定・決定に至るまでには、相応の期間を要し、また、管理運営の円滑な移行を図るための事務引継ぎ等の準備期間を考えると旭川荘の撤退まで十分な期間がなく、しばらくの間「星の郷」の運営は、市の直営で行うこととした。その間で新たな指定管理者を確保し、準備が整い次第指定管理者による運営に切り替えることとした。

美しい自然を未来につなぐまちづくり

環境対策◆ごみの減量化・再資源化を推進するため、新たにマイバック持参運動促進事業に取り組むほか、引き続きごみ減量化推進等補助事業などを実施する。◆地球温暖化防止対策として住宅用太陽光発電システムや太陽熱温水器設置に対する補助事業を実施する。◆家庭ごみ収集体制アンケートを実施する。◆ごみ焼却場や埋立処分場の課題については、新岡山県ごみ処理広域化計画に基づき、西部ブロック構成3市2町で「西部ブロックごみ処理広域化基本計画」を今年度中に策定し、平成22年度はその計画を具体的に示す実施計画書の作成と併せて新たな埋立処分場の敷地選定を開始することになっている。

活力と交流を生み出すまちづくり

商工業の振興◆地場産業振興センター補助金をはじめ、中小企業育成資金貸し付け金、また、緊急支援事業補償料補助金などにより、地場企業の活性化を図る。◆本年度中に策定する「井原市産業振興ビジョン」により、地場産業の振興に取り組んでいく。



農林業の振興◆有害鳥獣対策として新たにニホンザル生息調査を実施し、貸し出し用の野鳥捕獲柵の配備、防護柵設置補助などを継続実施する。◆地力回復・維持・強化を図るためのバーク堆肥購入補助を実施し、農業者の安定経営のための支援策を講じる。◆移動青空市やふるさとまつりの実施、地域農産物総合交流センターの運営などにより、農業の活性化を図るとともに農業用施設新設改良事業をはじめ、県営事業の井原芳井広域営農団地農道整備事業を推進し、基盤整備を積極的に行う。◆森林の保全事業としては、危険木の伐倒処理事業や造林補育事業を推進する。

観光の振興◆旧美星水路観測所跡地に新たに（仮称）美星星空公園を整備する。◆地域資源を生かした特色ある祭やイベントの開催によりまして魅力ある観光地づくりと観光客の誘致に努める。

安全で快適に暮らせるまちづくり

道路の整備◆市道志村百町線や梅木名越線など幹線道路の整備を引き続き進める。◆生活基盤道路や交通安全施設の整備を行うとともに、橋梁長寿命化修繕計画を作成し、道路環境の維持向上に努める。

広域交通網の整備◆国道313号、国道486号及び主要地方道の未改良区間の早期整備と交通安全施設の計画的な整備について引き続き国、県へ強く要望する。

公共交通対策◆現在市内には公共交通機関として鉄道井原線、民間バス、いばらあいあいバス、スクールバス等が運行されていますが、新たにデマンド型乗り合いタクシーの試験運行を開始する。既存の公共交通体系の利用が困難な3エリアで予約制の乗り合いタクシー週2回一日2便試験運行する予定で、使用車両は原則としてジャンボタクシーを考えており、利便性の向上を図る。 **来週号の2面へつづく**